

図書館だより

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

No.12 (2009.4.1)

本学の図書館の特徴と課題

附属図書館長 凍田和美

本学の図書館には、約10万7千冊の図書があります。他の大きな大学の図書館と比べると多くはありませんが、読みたい本、調べたいことがあったら図書館を是非利用してください。雑誌も約300タイトルあります。特徴的なのは、CDが約7,500枚、ビデオが約2,100本、LDが約1,100枚、DVDが約960枚あることです。

図書館サービスの向上を目的に2年に1度、全学生さんを対象とした「図書館利用アンケート」を実施しています。以下、アンケートから得た課題とそれに対する取り組みを書きます。

- (1) 利用頻度については、「週に1回以上利用」する人は、平成17年度39.1%から平成19年度24.1%に減少、「月に1回以上利用」する人も、64.8%から37.5%に激減しました。「必要なとき利用」する人が多数派となり、定期的に利用する人が減る傾向にあります。昨年度は、こうした傾向に歯止めをかけ、学生さんが本に親しみ、読書によって自分の考えを深め、それを表現する機会にしてもらうため、第1回「芸短生に薦める図書の紹介コンクール」を開催しました。
- (2) 開館時間については、17時に閉館していた平成17年度の調査では「開館時間延長」が42.3%でしたが、平成18年4月から19時閉館へ時間延長をした結果、「現状でよい」が81.0%となりました。また、定期試験前の土曜日には図書館開館を試みています。是非、利用してください。
- (3) 必要な資料は、「専門図書」60.6%が圧倒的に多く、次に、「教養や趣味の図書」29.5%が続きます。必要とする資料の充実度は、「充分揃っている」8.5%、「だいたい揃っている」48.5%、「あまり揃っていない」32.5%、「全く揃っていない」2.6%です。必要な資料が揃っていないと感じる人が1/3程度います。リクエスト制度、学生選書ツアーを通じてできるだけ要望に応えていきたいと思えます。資料を探す援助をするレファレンスサービス、他大学との本などの貸借・コピー取り寄せサービスはほとんど利用されていませんが、学習・研究を支援する大学図書館として基本的な機能です。わからないことがあれば気軽に職員に御相談ください。
- (4) アンケート以外として、「図書貸出期限超過」の課題があります。期限を超えて本を占有することは、他の利用の妨げることになります。図書は大学の資産です。本を大切に扱いましょう。

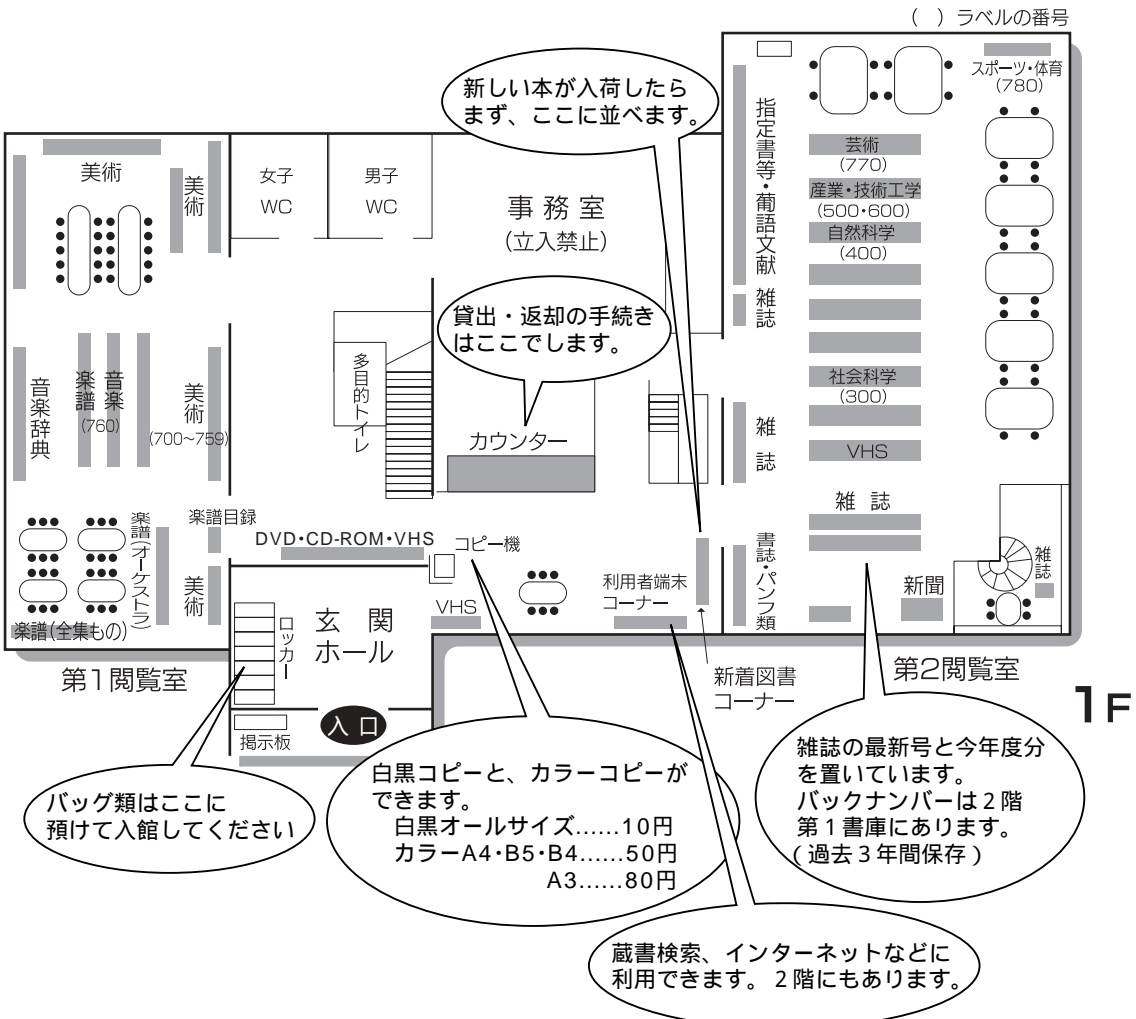
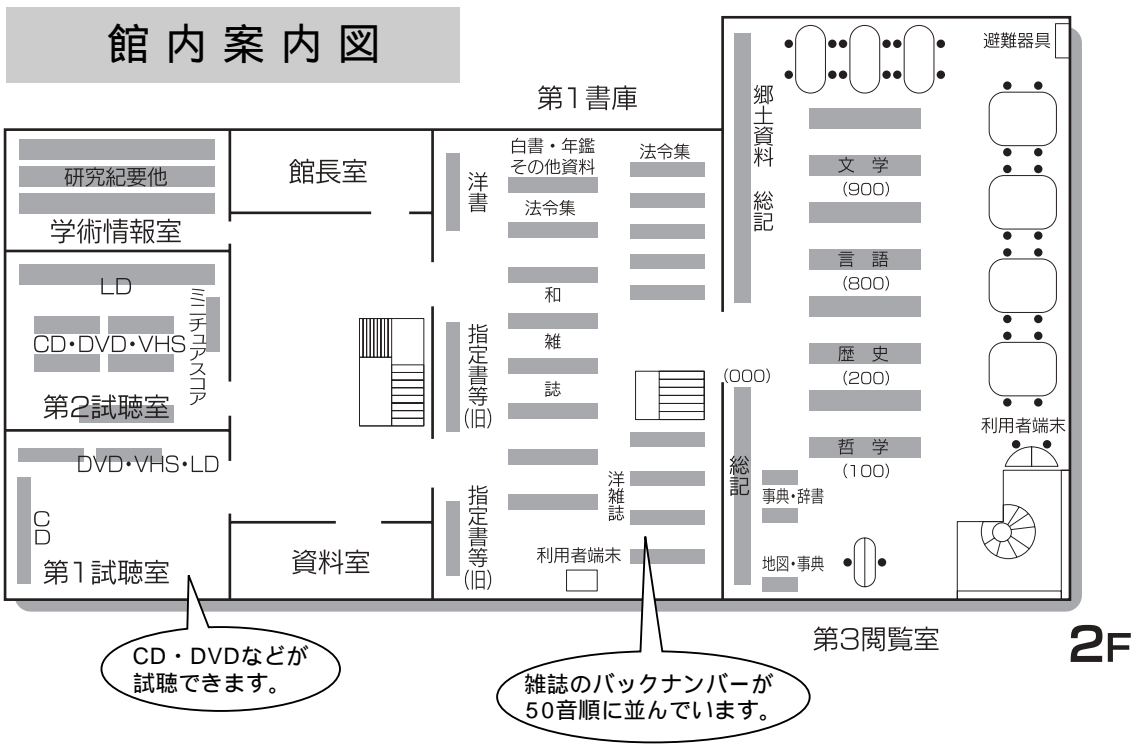
今後も、利用しやすい図書館づくりに努めていきます。要望・意見をお寄せください。図書館をもっともっと利用しましょう。



Illustration
Yuki Fujiwara

目次

図書館長からのメッセージ	1
館内案内図	2
図書や雑誌の探し方	3
図書館ホームページから蔵書検索ができます	4
私の図書館利用法	6
新入生へのおすすめの本	8
試聴室へ行こう！～試聴室おすすめのディスク～ ...	11
学生選書ツアーを開催しました	12
芸短生に薦めたい本は何ですか？	13
リクエストによる購入資料	16



図書や雑誌の探し方

図書の並び方

図書は「日本十進分類法」という多くの図書館で使われている分類法で並んでいます。棚に向かって、上から下へ、左から右へ請求記号（背ラベルの番号）順に進みます。

蔵書検索をするには

次のページを御覧ください。

附属図書館にはなかったときは

リクエスト（購入希望）ができます。

市内には県立図書館（<http://library.pref.oita.jp/>）や大分市民図書館（<http://www.library.city.oita.oita.jp/>）があります。利用登録には、免許証・保険証など現住所・氏名を確認できるものが必要です。

大分県大学図書館横断検索（<http://oudan.lib.oita-u.ac.jp/>）で、県内の大学図書館の蔵書検索ができます。所蔵館へ行くときは、学生証を持参してください。

大分県図書館横断検索（<http://library3.pref.oita.jp/>）で、県内の公立図書館の蔵書検索ができます。図書を利用したい場合は、県立図書館またはお近くの市町立図書館へ相談してください。

県内の図書館になかったときは

県外の図書館から図書を取り寄せることができます（往復郵送料の実費がかかります）。

国立情報学研究所 NACSIS Webcat（<http://webcat.nii.ac.jp/>）で、全国の大学図書館の蔵書検索ができます。

国立国会図書館総合目録ネットワークシステム（<http://unicanet.ndl.go.jp/>）で、全国の県立図書館の蔵書検索ができます。

NDL-OPAC（<https://opac.ndl.go.jp/>）で、国立国会図書館の蔵書検索ができます。

国立情報学研究所 Webcat Plus（<http://webcatplus.nii.ac.jp/>）で、1986年以降に発行された図書の目次、帯・カバーなどに書かれた情報を検索できます。

雑誌論文を探すには

他の図書館に依頼して図書の一部や論文・記事の複写を入手できます（著作権法で認められている範囲内です）。

複写料金（所蔵館により異なり、1枚数十円）と郵送料がかかります。

国立国会図書館 NDL-OPAC（<https://opac.ndl.go.jp/>）の「雑誌記事索引検索」で論題名、著者、雑誌名から雑誌記事を検索できます。

新聞記事を探すには

当館では主要全国紙等7紙を3年間保存しています。

館内の『朝日新聞』記事データベースで、1984年以降の記事の検索、閲覧ができます。県立図書館「大分合同新聞見出検索」（<http://library.pref.oita.jp/>）で、1986年以降の『大分合同新聞』の記事見出が検索できます。

図書館ホームページから蔵書検索ができます

検索画面を見てみよう

附属図書館ホームページにアクセスし、「蔵書検索」をクリックします。

<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>

検索画面

「項目別検索」 タイトル、著者名、出版者などの項目ごとに条件を指定します。

探している資料が決まっているときに向いています。

「キーワード検索」 ... 項目の区別なく条件を指定します。資料を広く探したい場合に向いています。

「項目別検索」画面



「キーワード検索」画面



複数の単語をスペースで区切って入力するとAND検索になります。

各項目間はAND検索になります。

「資料区分」と「和洋区分」は範囲を絞りたいときにチェックします（最初は「全資料」になっています。）

村上春樹『海辺のカフカ』(新潮社)を探すときは

探している資料名がわかっているときは、項目別検索が向いています。

タイトルで検索するには、「海辺のカフカ」のように漢字表記の完全形を入れるか、「カフカ」「海辺 カフカ」「ウミベ カフカ」のように漢字表記かヨミガナを単語で区切って入れます。

著者名で検索するには、「村上 春樹」「ムラカミ ハルキ」のように姓と名を区切って入れます。

認知心理学関係の資料を広く探したいときは

あるテーマについての資料を探しているときは、キーワード検索が向いています。

タイトル等に「認知」「心理」が付いていることが多いので、「認知 心理」と二語で入力するか、「認知」で検索した後に「心理」で絞り込み検索します。

検索の仕組みを知ろう ~ 検索機能を活用し、より正確な検索結果を得るために~

- ・【入力した言葉】と【資料データに付けられた検索用キーワード(インデクス)】とが完全に同じである場合に、その資料が表示されます。検索用キーワードに対する完全一致検索です。
- ・検索用キーワードは、検索システムが資料のデータ要素から一定の規則に従って自動的に作成します。その主なものは、タイトルの漢字表記の完全形、資料のデータ要素を単語に分けたもの、そのヨミガナです。

(例) 村上春樹『海辺のカフカ』(新潮社)の主な検索用キーワード

タイトル: 「海辺のカフカ」「海辺」「の」「カフカ」「ウミベ」「ノ」「カフカ」

著者名: 「村上」「春樹」「ムラカミ」「ハルキ」

出版社: 「新潮社」

- ・「心理学」「人類学」等「学」の検索用インデクスは、漢字表記では「学」「学」と二語になり、ヨミガナでは「ガク」と一語になります。

(例) 鹿取廣人『ことばの発達と認知の心理学』(東京大学出版会)のタイトル関係の主な検索用キーワード

「ことばの発達と認知の心理学」

「ことば」「の」「発達」「と」「認知」「の」「心理」「学」

「コトバ」「ノ」「ハッタツ」「ト」「ニンチ」「ノ」「シンリガク」

- ・単語の前に* (アスタリスク) を付けると前方一致検索ができます。検索用キーワードの単語の分け方に「ゆれ」を感じる場合、前方一致検索を使うと漏れが少なくなります。「心理*」と入力すると「心理」「心理学」の両方を検索できます。

検索結果を見てみよう

中村澄子『できる人のTOEICテスト勉強法』(中経出版)を検索すると、「所蔵情報」に次のように表示されました。まず「ステータス」が「貸出可能」かどうかを確認します。次に配架場所と請求記号を見ます。

配架場所	請求記号	ステータス
第3閲覧室	830.7/N37	貸出可能

所蔵情報の見方

- ・【配架場所】
館内の部屋やコーナーの名称です。第1閲覧室、第2閲覧室、第3閲覧室、指定書、第1書庫などがあります。
- ・【請求記号】
図書の背に貼られてあるラベルの記号です。上段に日本十進分類法という多くの図書館で使われている分類法に基づく分類が記されています。
- ・【ステータス】
図書の状態を表します。「貸出可能」は書架にある状態、「貸出中」は他の人が借りている状態です。

私の図書館利用法

情報コミュニケーション学科 2年 佐藤美和

小中高と頻繁に図書館を利用している人もいれば、そうでない人もいます。頻繁に図書館を利用する人はもちろん、これまであまり図書館を利用しなかった人は、大学に入学したことをきっかけに大学図書館デビューしてみてもどうでしょうか。図書館の利用法は人それぞれだと思いますが、以下私なりの図書館の利用法を紹介しようと思います。これが、これから図書館デビューする人の参考になれば嬉しいです。

私の大学図書館の利用法は主に三つあります。一つめはもちろん、本を借りることです。私が思う大学図書館で本を借りる利点は、新刊の入荷が県立図書館よりはやく、より新しい知識をより早く得ることができる、という点だと思います。なので、自分がどうしても読みたくて買うか迷っていた本が図書館に行ってみればあった、ということが頻繁にありました。もし、読みたいと思っている本が図書館にない場合もあると思います。その場合は、定期的に行われている“選書ツアー”に参加してみてもどうでしょうか。選書ツアーとは、学生有志を募り、その有志学生が実際に本屋に行き、図書館に入

荷する本を購入するツアーのことです。もちろん読みたい本をリクエストすることもできます。しかし実際に本屋に行って、他有志学生と本を選ぶことが、今まで興味関心の無かったジャンルの本を読むようになるきっかけになるかもしれません。選書ツアーが開催される時は学科掲示板などに概要が掲示されるので、是非機会があれば参加してみてください。

二つめは新聞を読むことです。あまり新聞を読むことの無かった私ですが、大学に入学したことを機に新聞を読むことが習慣づいたと思います。三つめはDVDを視聴することです。話題作であればだいたいはあると思うので、本や新聞を読むことに疲れたら、休憩がてらDVDを視聴してはどうでしょうか。

以上が私なりの大学図書館の利用法です。これを読んでも大学図書館デビューできそうにない人もいます。読書やDVDの視聴を目的とせずとも、空調設備が整っているという点や、人文棟から少し離れている、という点から図書館はちょっとした穴場です。みなさんそれぞれの利用法を見出して、大学図書館を活用してみてください。

専攻科音楽専攻 平成20年度修了生 佐藤 由希

私は昔から、本屋や図書施設で過ごす時間が好きで、学校では、よく図書館を利用していました。大学の図書館は、とても過ごしやすい環境となっているため、居心地がよく、集中して勉強に取り組むことができます。

様々な部類の本が豊富に揃えられており、新しい本に出会うたび、毎回新鮮な気持ちになります。また、レポートについての調べ物など、勉強で活用する以外に、趣味を楽しむためにも十分に活用することができる場所となっています。私の場合、例えば、料理の本を見てレシピを参考にしたり、インテリアや雑貨についての本を読んだりして楽しんでいます。

本だけでなく、雑誌も何種類か置いており、音楽雑誌は気になる記事をチェックして、演奏などの参考に役立っています。本を読むのが苦手な人でも、雑誌なら読みやすいと思うのでお勧めです。

また、パソコンが何台か設置されているので、インターネットを使用して情報収集をすることもあります。図書館のHPで蔵書検索をすることで、探したいものをすぐに見つけることができるので、とても便利です。

そして、2Fの試聴室には、CD、DVD、ビデオ、レコードなど、いろんなジャンルのものが揃えられています。授業のない日などは、ゆっ

たりとCDを聴いたり、DVDを見たりして過ごす日もあります。誰でも気軽に鑑賞できるので、音楽科以外の学科の人にも、ぜひ利用して頂きたいと思っています。

大体の方にとって、図書館は堅いイメージがあると思いますが、授業の空き時間など、ぜひ気晴らしに利用してみるといいと思います。きっと良い息抜きになると思います。



新入生へのおすすめの本

取り上げられた本は、附属図書館に所蔵もしくは所蔵予定です。

岡部あおみ『アートが知りたい[本音のミュゼオロジー]』(武蔵野美術大学出版局)

美術科 八木 明知

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これからの2年間で様々な友人、作品と出会い、表現することの自由さ、苦しさ、喜びを一緒に味わいながら、「これはやめられない!」「つづきたい!」と思って2年後にこの学校を巣立っていけるように、教員の私たちも誠心誠意みなさんをサポートしていきたいと思っています。まず皆さんにお伝えしたいのは附属図書館の美術書、画集の充実ぶりです。九州で唯一の公立の美術科を持つこの学校ならではの素晴らしい蔵書の数々を、折にふれ目にしていって欲しいと思います。画集も洋書、和書、豪華本、古典から現代まで、2年間毎日通っても味わいつくせないほどの量です。皆さんが美術を始めた時期、きっかけ、芸短大に入学するために勉強してきた量は、千差万別だと思いますが、ここの図書館で「今まで全く知らない作家だったけど、心を突き刺された」「名前は知っていて、美術の教科書では作品を観たことがあったけど、じっくりと観たらものすごく心打たれた」等々百人百様の出会い、発見をしてほしいと思います。

さて今回、皆さんへのおすすめ図書として、岡部あおみ「アートが知りたい[本音のミュゼオロジー]」を選ばせて頂きます。著者の岡部さんは、日本の大学の教養学部を卒業された後フランスに留学され、ポンピドゥ・センター「前衛芸術の日本展」コミッショナー、同センター「国際美術映像ビエンナーレ」審査員を歴任、現在は武蔵野美術大学芸術文化学科で教授をされていますが、深くフランス

現代美術の現場に目を向けられてきた著者が、現代日本美術の現場を、1 - artist, 2 - collector & gallery, 3 - museum, 4 - mecenat, 5 - studio & residence, 6 - art space & NPO, 7 - international exhibition の7つの視点で、関係者とのインタビューをまとめた内容になっています。インタビューのテープを起こした話し言葉中心の本なので堅苦しさがなく、皆さんにもとても読みやすいと思います。読みすすんでいくと、日本の美術界が抱える問題点も浮かび上がっていますが、同時にそのような状況の中で、美術を愛して生きている人たちの姿がいたるところに輝いている、とても素敵な本だと思います。

(やぎ あきとも/ミクストメディア)



熊倉敬聡・千野香織編

『女？日本？美？ 新たなジェンダー批評に向けて』（慶応義塾大学出版会）

国際文化学科 水野僚子

入学式の季節になると、いつも新入生がとても眩しく見えます。それはおそらく、彼／彼女がこれからさまざまな人／こと／ものと出会い、たくさんのことを学び、抱えきれないほどの複雑な感情を抱えながら少しずつ大人へと成長していく、そんな未来が羨ましく想うからかもしれません。大学の学生生活とは、自分とは何か、自分は何がしたいのか、自分はどこに向かうのか、そんな悩みに常に直面しながら過ごす時期だと思います。しかし、それはとても大事な時間です。様々な人々や知識と出会うことで、自分の価値観や生き方を見つめなおすことができるからです。かつて私が学生だった時も、大学で新しいことを学ぶたびに自らの価値観を揺さぶられ、「自分」がよく分からなくなり、拠り所となる何かを模索していたように思います。そのプロセスは決して楽しいものばかりではありませんでしたが、今となっては、大変貴重な時間だったと感じています。

この本は、そんな学生時代、私を大きく揺さぶった一冊です。題名の言葉はどれも私たちが日常何気なく使っているものですが、すべてに「？」がついていることに注目してください。この本は「女」「日本」「美」という、一見あたりまえの言葉とその意味を、「？」という疑問符を付してもう一度じっくり考えてみようという問いかけているのです。本の中で取り上げられているのは、美術・写真・漫画・ポップス・演劇など、私たちの身近にあるものばかりです。著者も、美術史・文学・思想史の研究者、アーティスト、批評家など多岐に渡っています。このように異なる分野の人々が、各自の立場・視点から、視覚的なイメージの中にひそむ様々な問題 例えば、「国家」という権力、「男性」「女性」のジェンダー、「同性愛」「異性愛」に二分

化されるセクシュアリティ、「身体」という政治性、そして「日本」「日本人」とは何者なのか？などを論じている、とても刺激的な本です。しかもこの本が面白いのは、芸術とサブカルチャー、研究者とアーティスト、「造ること」と「批評すること」を分かつことなく、同じ場で論じられていることです。いうまでもなく、本書には多様な価値観が詰まっています。読めばきっと、多くの人が自分の中に「揺らぎ」を感じるでしょう。

まずは本を手にとってみてください。銀色の表紙には自分の姿が写りこむでしょう。本を手にとった瞬間から、「あなたは誰か、何者なのか？」と問いかけられているのです。

最後に、本書に収められた千野香織の一節を紹介しましょう。

「これらの論文は、私たちにさまざまなことを語りかけてくる。何の困難もなく連帯できるような、理想的で自然な「私たち」など存在しないこと。いま現在の世界を一緒に生きているはずだった「あなた」と「私」の間にも、不均衡な力関係が存在していたこと。しかしそれにもかかわらず、もし「あなた」と「私」が、いま現在という同じ時間を共に生きながら、共に考えていくことができるなら、たしかに希望は存在するのだということ。」(本書24ページ)

本書が発行されてすでに10年が過ぎようとしています。その内容は色あせず、今もなお私たちに多くの刺激を与えてくれます。この本を通して、みなさんもじっくり「自分」と向き合ってみてはいかがでしょうか。

(みずの りょうこ / 日本美術史)

新入生へのおすすめの本 情報コミュニケーション学科

佐野眞一

『巨怪伝～正力松太郎と影武者たちの一世紀』
(文春文庫)

読書は伝記に始まり、伝記に終わる。正力松太郎って知らないでしょ。読売新聞の大ボスだよ。左翼弾圧にらつ腕を振り、読売に転身。政官財の人脈をテコに、部数百倍増を達成した。テレビ、プロ野球、プロゴルフ、プロサッカー、さらには原子力まで。大正・昭和の裏面史を生きた男の迫真の伝記です。著者・佐野眞一のものなら、何でも面白いよ。

(マスメディア論 / 下川正晴)

野村進

『千年、働いてきました 老舗企業大国ニッポン』
(角川oneテーマ21)

携帯電話に、日本で創業百年以上の老舗企業による技術が用いられているという話にはじまり、老舗の知恵が時代の変化に柔軟に対応しながら、先端技術を支えている事例が紹介されています。現在、製造業は不況や雇用不安で混迷している状況ですが、これまで人を育て技術を伝承してきた日本の製造業の原点を見つめ直すきっかけを与えてくれる本です。

(労働社会論 / 坂口桂子)

原寿雄 『ジャーナリズムの可能性』(岩波新書)

新聞を読む代わりに携帯電話やパソコンでニュースを見たり、テレビの代わりに動画サイトを見たりする機会が増えていないだろうか。とても身近なネット社会だが、むやみに発信者が不明なブログの記事を鵜呑みにしたり、動画や掲示板の話題に強く影響を受けたりすることは避けなければならない。誰が何のために誰の金で作った情報なのかなどを読み取るメディアリテラシーと、他の情報と総合して判断する情報リテラシー。学科の柱「MIPS」の全てに通じるはずだ。

(情報基礎 / 吉岡 孝)

藤原正彦 『数学者の言葉では』(新潮社)

著者は、『若き数学者のアメリカ』『国家の品格』などでも有名ですが、今回は、表題の本をおススメ本に挙げます。この本はエッセイ集で、どのお話も面白いのですが、とくにお勧めが、「学問を志す人へ ハナの手紙」です。この話では、著者の教え子の大学院生ジョハナ(愛称ハナ)の苦悩が語られています。学問や芸術を志す者に訪れる悩みや不安とは何か? そうした悩みや不安と折り合いをつけるにはどうしたらよいのか? 前に進む力を与えてくれるエッセイです。

(社会心理学 / 吉山尚裕)

試聴室へ行こう!

～試聴室おすすめのディスク～

THE HUBERMAN FESTIVAL (フーベルマン フェスティバル)

音楽科 川 瀬 麻由美

宮崎国際音楽祭で貢献したことで知られているヴァイオリニストのアイザック・スターン、ヴィオラ奏者としても名高いピンカス・ズーカーマン、オバマ大統領就任式で世界的チェリストのヨーヨー・マと演奏を披露したイツァーク・パールマン。この3人が登場するだけでも、楽壇の一大イベントとなった「フーベルマンフェスティバル」。ポーランド生まれの偉大なヴァイオリニスト、プロニスラフ・フーベルマンの生誕100年を祝って1983年に催されたコンサートである。26年前のカラー映像で、2枚組DVD。

ズーピン・メータ指揮イスラエル・フィルと巨匠達との1度限りの夢の共演を堪能できる映像だ。

ヴィヴァルディの『四季』のソロパートをスターン、ズーカーマン、シュロモ・ミンツ、パールマンの4人で分担するというスタイルで演奏されているが、このとき、デビューレコーディングからわずか2年目の新進ヴァイオリニストのミンツは、巨匠達と同じ舞台に登場したその模様を全世界に向けてテレビ放映され、一夜にしてその名が国際的な規模で知れ渡ることとなった。彼はこのコンサートでメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲も演奏しており、その甘美な音色は印象的である。

同じくヴィヴァルディが作曲した「4つのヴァイオリンのための協奏曲(合奏協奏曲集Op. 3, No.10)」では、スターン、ミンツに加えて、別府アルゲリッチ音楽祭にも登場したイヴリ

ー・ギトリスやポーランド出身の女性ヴァイオリニストのイダ・ヘンデルが共演しており、各人の溢れんばかりの個性が渦巻きながらも見事に溶け合っている。

その他、ミンツとスターンによる「ドッペルコンチェルト」(J.S.バッハ)、ヘンリク・シェリングの気品と情熱とを併せ持つ知的な「ヴァイオリン協奏曲」(チャイコフスキー)、パールマンとズーカーマンがアンコールとして披露した「パッサカリア」(ヘンデル=ハルボルセン)など、何とも贅沢なプログラムばかりである。

最近ではYouTubeという便利なサイトを利用し、映像や音楽を鑑賞することも容易になったが、上記のヴァイオリニストたちの名演を試聴室でもCDやDVDで楽しむことができる。彼らの奏でる音楽の真髄に触れ、有意義な時間を過ごしてみたい。

(かわせ まゆみ/ヴァイオリン)



学生選書ツアーを開催しました

昨年11月19日(水) 図書館の学生用図書が学生が書店に出かけ自分の目で選ぶ「学生選書ツアー」を紀伊国屋書店大分店で開催しました。一昨年に続いて2回目です。

公募により選ばれた5名の選書委員が約2時間、1人2万円の予算内で、学科として必要な本、大学として必要な本、個人的に興味のある分野という視点から選書しました。その後、11月26日(水)に選書委員会を開き、選んだ理由やおすすめのポイントを一人ひとりが発表するとともに、意見交換を行いました。

選ばれた55タイトルのうち既に所蔵されている3冊を除く52冊が新着図書コーナーに配架されました。今年も学生選書ツアーを行う予定です。学生選書委員への多数の応募をお待ちしています。



学生選書ツアーに参加して

11月の中頃、紀伊国屋書店にて学生選書ツアーが行われた。

実用書、小説、楽譜に画集、写真集などなど、店内の本棚にずらりと並べられた本。この中から、私を含め五名の選書委員が選んだ本が、図書館の蔵書に加えられる。そう考えると、この選書ツアーの三時間、気を引き締める思いであった。カゴを片手に持った私たちは、店内を回り、これだと思える本を探しにかかった。予算は一人二万円。これなら少々値の張る本を選んでも大丈夫だろう。

絵の具に関する本、好きな作家の画集や作品集。作品制作をする際、プラスになるだろう本をカゴに入れる。他にも、以前から興味があった小説や、簡単レシピの料理本も数冊手に取る(一人暮らしの学生も多いので)。ケータイの電卓機能で、しっかり予算とも相談。普段自費で本を買う感覚にはない、少しかしこまった心持ちで本の列を吟味する。実際、三時間はあっと

いう間だった。

そうして選ばれた本が、図書館の本棚に並べられているのを見ると、ささやかながら達成感を感じた。新着図書コーナーの棚に置かれたその本たちが貸し出されたときなど、私は内心小さく万歳をしていた。

選書委員は四学科からバランスよく集まっている。その為か、選ばれた本のジャンルも幅広い。就活本、ライトノベル、画集、楽譜と様々だ。比べてみると、それぞれの学科の色が見えてくるので面白い。

普段、所蔵された本を読む程度の私が、選書という積極的な形で図書館に関われたのは貴重な経験となった。

検定の問題集、話題の小説、オペラのガイド本など、各学科の学生の目線から選ばれた本たちに興味を抱いてもらえたら、そして手にとってもらえたら、選書した学生としても嬉しい限りである。

(美術科2年/三浦明恵)

芸短生に薦めたい本は何ですか？

- 芸短生に薦める図書の紹介コンクール 入賞作品から -

入賞者の学年はコンクール入賞当時

最優秀賞 外園 愛 (美術科2年)

ハンス・クリスチャン・アンデルセン / 著 (矢崎 源九郎 / 訳) 『絵のない絵本』新潮社

「さあ、わたしの話すことを、絵におかきなさい。」

「そうすれば、きっと、とてもきれいな絵本ができますよ。」

何かに深く心動かされたとしても、それを絵に描くことができない、若く貧しい画家。彼のもとに世界の有為転変を見てきた「月」が来て物語ってくれる。一夜に一つずつ。それは「フランス王の玉座の上の貧しい男の子」の絵を夢見るお婆さんの話であったり、お人形に「あんた、生き物を笑ったことがある？」と話しかける女の子の話であったり。梵天王が出てきたと思ったら、ビーナスも出てきたり。可愛らしいユーモアもあれば、顔が渋くなる残酷なものもある。とある三十三夜の物語。

この話はまず初めに題名に惹かれる。幼稚園の頃、違う訳で絵本の形体で味わったが、ずっとこの題名を覚えていた。絵を絶しても伝わる絵本的な世界？ 絵の必要のない童話？ 読めば絵が浮かんでくる？ 考えれば考える程素敵な題名ではないだろうか。最近、内容も忘れてしまう一度読もうと本屋に行って、本当に絵が一つもない矢崎源九郎訳の『絵のない絵本』を買った。今読んだからこそ分かるこの情感。幼稚園のときは見落としていただろう一見分かりにくい細やかな愛の数々。逆にあの時だったら簡単にシンプルに感じていただろう幸せや悲しみ。訳の表現も些細な所まで豊かな日本語にする工夫がしてあるので嬉しい。この本は大きく感情を揺さぶられたり、日常ががらりと変わる

ようなことはなかった。けれど、何度も読み返せる。読むたびに文章が爪先から侵食していく。暇に一夜話だけ読んで浸ることもできる。抑揚のある心地いい物語達だ。時折でてくる「月がキスをする」表現も心寄せられる。

I love you を「月が綺麗ですね。」と訳したのは夏目漱石だったか。「月」は世界各国様々な人々も、一度は想いを馳せたことがあるだろう。馳せたことなくとも、何も考えず「ぼー」と見上げたことはあるだろう。そんな「月」の物語る一夜一夜の話達。興味ないだろうか？ この本を読んで幸せになったり、愛を感じたりするかもしれない。ひどく不快になる人も、痛みを伴う人もいるかもしれない。それでもこの本の存在が誰かの中に残るなら、私個人としての願い。この本を一度読んでほしい。

優秀賞 藤原 雪 (専攻科造形専攻2年)

中島 信行『全国盲人展写真集 見えないチカラ invisible power』(小学館)

自由、という言葉がある。自由は人間にとって憧れであり、魅力的な言葉である。特に若者はこういう言葉に弱いのではないだろうか。私も弱い。心のどこかで漠然と、自由を求めている。しかしこの自由という言葉の裏に、一体何を求めているのだろうか。

「見えないチカラ」と題されたこの写真集を見ていると、私はそのことの答えがここにあるのではないかという気になる。本書は視覚障害者が写真を撮り、それらをまとめた作品集である。

目の見えない彼らの撮影と目の見える私達の撮影とでは、被写体の捉え方が大きく異なる。彼らは近親者に手助けしてもらいつつも、最終的には自分の感覚でもってシャッターを切る。彼らは目を使えない代わりに、花の匂いや太陽の温み、人の声や風の具合などを体を感じることで、被写体に意識を集中させる。私達が視覚だけで写真を撮るのに比べて、彼らは視覚以外の全ての感覚を使って写真を撮るのである。目の見えない撮影者は実際に自分の撮った写真の出来を見ることはできないが、彼らはその行為、その写真作品を残していくことによって、自らのうちにある「見る」力を示している。ここに一つの問いかけがある。彼らは「見えない」という不可能性の先にある可能性を見据え、それが私達に「見る」という行為を問いかけるのである。

「無い あることを拒否するポイントからあるを捉え、また逆にある側から無を強烈に照らし出すべきではないか」(岡本太郎『美の呪力』、新潮文庫、2004年)

この一節は岡本太郎が文化の考え方について論じているものであり、これによって彼は物質として残っている文化ばかりが注目されることを批判し、物質が残っていないということがど

れほど文化的かということを主張している。「ある」ことにも「無い」ことにも、どちらにも意味があり、考えるべき必然性がある。「無い」ことのその先に「ある」を見出し、見出すことによって可能性を示し、それによって「無い」という概念そのものを打ち消す。見えることと、見えないこと、そのどちらにも「見る」ことの可能性が備わっている。自由とは、つまりこういうことではないだろうか。

「無い」「できない」ということは素通りされやすく、ばかにされやすいものであるが、本当はそれをもっと見つめようとしなことが愚かなのである。自由とはその愚かさを超えた時に、湧き出てくるものだと思う。

どのような条件下においてもそこに可能性を見出す知恵を持つこと、それを私は自由と呼びたい。それは状況によって様々に形を変えて生きていく水のようであり、木のようであり、石のようである。自然が自由とは何かを教えてくれている。そしてこの写真集に収められている瞬間瞬間は、自然のように清々しい。

人間も自然である。人間ゆえに、若者ゆえに自由を求める。しかし求める先は、自分の外ではなく、内に向かってなのである。

優秀賞 長野 詩織 (情報コミュニケーション学科1年)
伊坂幸太郎『アヒルと鴨のコインロッカー』(東京創元社)

「やられた。」

読み終えた後、私は思わずそう呟いてしまいました。

話は、大学生である椎名が、引っ越し先で悪魔めいた美青年の河崎と出会い、一冊の広辞苑を狙って本屋を襲う場面から始まります。椎名が主人公である現在の話と、琴美というペットショップ店員が主人公である二年前の話とが交互に進んでおり、二つの話に共通するのは河崎の存在だけ。ほとんどつながりのなかった話が、だんだんと結び付き、最後には大きな伏線が待ち構えていました。

この本で魅力的な点は三つあります。

一つ目は、登場人物。悪魔めいた美さを持つ長身の青年や、マネキンのように白い美女、日本語が苦手なブータン人の留学生など、個性的な人物が多く登場します。特に、悪魔のような美青年河崎の、女好きであり紳士的でもある性格には惹き付けられました。

二つ目は、登場人物たちの会話や考え方。伊坂さんの作品には、哲学的な考えを持った人物が少なからず登場します。彼らの独特な考えは、滅茶苦茶でもあり、また、思わず吹き出してしまうようなところもありました。例えば「教訓を学んだ。本屋を襲うくらいの覚悟がなければ、隣人へ挨拶に行くべきではない。」や「世の中を救済するのはチョコレート菓子であると、わたしは信じている。」など、無駄な文がないので読み飛ばすことができません。

最後は、現代問題。この本は、伊坂さんの作品の中でも特に多く現代問題について取り入れています。外国人に対する日本人の苦手意識や、動物虐待、HIVや妊娠に関する性問題についてなど、改めて考えさせられました。また、この本を通して気づかされたことも多く、勉強になりました。

全体的にシリアスな話ですが、読み終えた後、温かい気持ちになれる本です。まったく意味のわからなかったタイトルも、最後の最後によく判明しました。この本は映画化されているので、本が苦手な人はぜひ映画を見てみてください。命の大切さや友情など、本当に多くのことが詰め込まれているこの本を、芸短生に読んでほしいと思います。



リクエストによる購入資料 (平成20年度下半期)

時 期	タ イ ト ル	著 者	出 版 社
10月	戦国忍者武芸帳 忍びの国 仏検合格のための傾向と対策 3級 新訂 BIBAスウィングン・ロンドン1965-1974	多 岐 川 恭 和 田 竜 森 田 秀 二 長 澤 均	新人物往来社 新 潮 社 エディション・フランセーズ ブルース・インターアクションズ
11月	就職しないで生きるには 新装版 相棒 seson 3 上 水のなかの蛍	レイモンド・マンゴー 輿水泰弘 池 永 陽	晶 文 社 朝日新聞社 集 英 社
12月	プロポーズ大作戦 もしもあの日に戻れたら たばこパッケージクロニクル	金子茂樹 たばこと塩の博物館	マガジンハウス イカロス出版
1月	君に届け (シリーズ3冊) 恋の華 白蓮事件 その英語、ネイティブにはこう聞こえます SELECT	下川香苗 永畑道子 David A.Thayne, 小池信孝	集 英 社 藤原書店 主婦の友社
2月	中国雑学団 くいだおれ太郎のつぶやき。 いっしょがいいね。	柏木理佳 くいだおれ太郎 間山公雄	マガジンハウス マガジンハウス 文藝春秋
3月	全国の地域ブランド戦略とデザイン 世界のかわいいパッケージ	m&m&m's	ピエ・ブックス ピエ・ブックス

リクエストについて・・・

図書館に所蔵のない本で、読みたい本や、購入して欲しい本があった場合、希望により購入することが出来ます。
購入して欲しい本のある方は、お気軽にカウンターまでおいで下さい。

大分県立芸術文化短期大学附属図書館 図書館だより No.12

発 行 日 2009年(平成21年)4月1日発行
 編集・発行 大分県立芸術文化短期大学図書委員会
 大分県立芸術文化短期大学附属図書館
 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
 電話:(097)545-4235
 ウェブサイト:<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/> (図書館)
<http://www.oita-pjc.ac.jp/tsdayori> (図書館だより)
 イラスト:専攻科造形専攻 平成20年度修了生 藤原 雪
 印 刷 いづみ印刷(株)
